

2024年5月
2019年4月策定

横浜市立田奈中学校 部活動における活動方針

1 部活動のねらい

ア 豊かな人間性を育成する

・思いやり、協調性、連帯感、友情、ボランティア精神等の社会性や公共性を高める。

イ たくましく生き抜く力を育成する

・規範意識をもち、自らを律しつつ、困難を乗り越える力や問題解決能力を身に付ける。

ウ 調和のとれた学校生活を実現する

・自分自身の成長を確認し自尊感情を高め、自信をもって学校生活を送れるようにする。

・顧問と生徒、生徒同士の授業とは異なるふれあいの中から信頼関係を育む。

エ お互いを尊重し、思いやりの心を育てる中で自尊感情を高める

・好きなことに一生懸命に取り組むことで、達成感や成就感を得る。

・できるようになることやわかるようになることで自信と喜びを得る。

オ 生涯にわたりスポーツや文化活動に親しむ基盤をつくる

・専門的な知識や技能を身に付けることで、長く親しむことができる基礎をつくる。

2 活動日・活動時間

ア 部活動休養日を平日1日以上、土日1日以上として設定する。

イ 1日の活動時間を、平日2時間程度、休日3時間程度として設定する。

ウ ただし、上記ア及びイについては大会やコンクール等の日程、学校施設の状況、競技種目や部活動ごとの特性、生徒の状況を総合的に判断し、生徒がバランスの取れた日常生活を送る負担にならないように活動日・活動時間を設定する。

エ 大会やコンクール等で上記ア及びイを超えて活動をする場合は、できる限り他の日に振り替えて休養日を確保するよう努める。

3 指導のあり方

ア 顧問は教育公務員としての自覚をもち法令を遵守し教育的な指導を行う。

イ 常に生徒の心身の状態を把握し、発達段階に応じて指導にあたるとともに安全管理を徹底する。

ウ 顧問は、自分の思いや考えだけの一方的な指導ではなく、生徒の心情を理解し、生徒が「主人公」として活動できる指導を行う。

エ 知識や技能の向上だけでなく、人間性や社会性の育成を重視する。

オ 部活動を通して、できたことやわかったことへの喜びや自信を苦手な事への挑戦や克服へのきっかけとなるような指導を心がける。

カ 部員同士の人間関係を把握し、生徒たちが自主的、自律的に協力して円満に活動できるように努める。

4 部活動の実施計画と運営

- ア 各部の顧問は、活動方針等を作成し校長へ提出するとともに、生徒・保護者へ説明する。
- イ 各部の顧問は、月間活動計画を作成し校長に提出するとともに、生徒・保護者に公表・周知する。
- ウ 校外で活動する場合には、往復時及び活動場所の安全には十分に配慮し、生徒・保護者に行先及び経路をあらかじめ連絡する。
- エ 積極的に外部の指導者を活用する。

5 保護者・関係者(外部指導者等)との連携

- ア 顧問(指導者)の指導方針・計画や思いを伝えるとともに、保護者の思いや要望をしっかりと受け止めて、信頼関係を構築する。
- イ 保護者の経済的な負担を最大限考慮して、活動や物品の購入を行う。
- ウ 活動予定の変更や事故等が起きた場合には速やかに保護者に連絡をする。
- エ 外部指導者として、部活動の指導にあたる者は、準教育公務員であることを遵守し、本校の教育方針にのっとり活動を指導・支援する。
- オ 外部指導者は、学校教育ボランティア活用指針、部活動外部指導者活用の指針を十分に理解し、指導にあたる。

6 安全への配慮・事故等への対応

- ア 部活動の実施にあたっては、生徒の生命・身体・健康を守ることを最優先する。
- イ 顧問(指導者)は、生徒自身の安全意識を高め、日頃から事故を未然に防ぐことができるように活動の計画を立て、環境・設備に十分に配慮する。
- ウ 活動時の生徒の体調や天候・気温等を考慮して、無理のない内容や活動時間を設定して活動する。
- エ 事故や疾病が発生した場合は、当該生徒の救護・応急措置が迅速かつ適切に行うことができるように救急体制を整える。